

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団

# 平成30年度 研究助成

助成対象期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日



食物アレルギーに関連する知見獲得、問題解決を目指す研究者及び研究グループに対する助成事業です。

## ●対象研究領域

1. 食物アレルギー対応食品に関する研究
2. 食物アレルギーの予防に関する研究
3. 食物アレルギーの診断・治療に関する研究
4. 食物アレルギーに関する工場内等での衛生管理に関する研究
5. 食物アレルギーに関するその他研究（社会科学的な研究を含む）

上記領域はすべて重要ですが、特に「①食物アレルギー対応食品に関する研究」や「②食物アレルギーの予防に関する研究」の応募を歓迎いたします。



## ●募集期間

平成29年7月14日(金)から9月30日(土)

消印有効



助成区分及び助成件数等

## 共同研究 上限600万円×5件（予定）

- 専門領域を異にする複数の研究者（※）が、同一テーマに関し、広範に共同研究する場合を対象にします。
- 代表研究者の他に分担経費が100万円（税込）を越える共同研究者が一人以上加わることが必要です。

※同一機関（大学等）の同一部署（学部等）に所属する者を共同研究者に指名することはできません。

なお、異分野、他機関との積極的な交流を期待しています。研究体制に食品科学の研究者が入り、医学、薬学、保健、栄養等、異分野かつ他機関が参加していることを歓迎いたします。

## 個人研究 上限200万円×15件（予定）

- 若手研究者（平成29年4月1日時点で45歳以下）による単独研究を対象とします。



※両区分とも、提案が適切であれば、新たに食物アレルギーに取り組む方も積極的に支援したいと考えています。

※平成29年度実績：採択件数（共同研究：5件、個人研究：14件）助成金総額約5,687万円

その他にも応募条件等があります。詳細は7月中旬に公開予定の募集要項をご確認ください。

<https://www.miraizaidan.or.jp>



ニッポンハム  
食の未来財団

【問い合わせ先】

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団

〒305-0047茨城県つくば市千現2-1-6

つくば研究支援センター A-24

電話：029-893-4466

E-mail:info@miraizaidan.or.jp



# 平成29年度 研究助成課題 (助成対象期間：平成29年4月1日から平成30年3月31日)

## 共同研究助成 (5件)

50音順、敬称略

	代表者	所属機関・役職	研究課題名
1	伊藤 浩明	あいち小児保健医療総合センター 副センター長 兼 総合診療科部長	αs1 カゼインのアレルゲン活性に対する免疫学的機序による制御に関する研究
2	海老澤 元宏	国立病院機構相模原病院臨床研究センター 副臨床研究センター長	新生児早期の食事介入による即時型食物アレルギー発症予防効果の検証
3	香月 康宏	国立大学法人鳥取大学 染色体工学研究センター 准教授	食物由来制御性ペプチドの探索に基づく食物アレルギー予防食品の開発
4	藤澤 隆夫	国立病院機構三重病院 院長	重症鶏卵アレルギーに対する経皮免疫療法の有効性と安全性に関する研究
5	松本 健治	国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 部長	ヒスタミン遊離因子の阻害による食物アレルギー治療薬の開発

## 個人研究助成 (14件)

50音順、敬称略

	氏名	所属機関・役職	研究課題名
1	伊藤 亮治	公益財団法人実験動物中央研究所 博士研究員	ヒト化マウスを用いた食物アレルギーモデルマウスの開発とアナフィラキシー制御の研究
2	五十嵐ありさ	国立成育医療研究センター研究所 研究員	食物アレルギー罹患児の血漿中におけるアレルギー関連miRNAの発現プロファイル解析
3	上番増 喬	徳島大学大学院医歯薬学研究部 助教	母親の腸内環境が胎児の出生後の食物アレルギー発症に及ぼす影響の解析
4	大嶋 直樹	島根大学 医学部 助教	microRNAの網羅的解析を用いた好酸球性消化管疾患のバイオマーカーの探索
5	岡田 貴裕	佐賀大学 医学部 助教	糖鎖生物学的アプローチによる果実のアレルゲン性発現メカニズムの解明
6	片山 茂	信州大学 農学部 准教授	免疫寛容誘導作用を有する低アレルゲン性蕎麦抗原ペプチドの創製と予防治療への応用
7	川本 典生	岐阜大学医学部附属病院 小児科 併任講師	抗原改変カゼインを用いた乳幼児ミルクアレルギー患者への早期介入による、ミルクアレルギーへの治療効果に関する研究
8	國澤 純	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 プロジェクトリーダー	食物アレルギーの新規予防法の開発に向けた母子栄養・腸内因子とアレルギー疾患との相関解析
9	田中 景子	愛媛大学大学院医学系研究科 助教	妊婦の栄養摂取状況と子の食物アレルギー発症との関連：出生前コホート研究データを活用した解析
10	長尾 みづほ	国立病院機構三重病院 臨床研究部 室長	食物アレルギー児のQOLに着目した予後に関する研究
11	平川 城太郎	千葉大学大学院薬学研究院 助教	革新的抗体作製技術を用いた食物アレルギー抗原同定法の開発
12	藤村 孝志	広島大学大学院先端物質科学研究科 特任助教	うるち米デンプンとアレルゲンの共摂食による経口免疫寛容誘導の検討
13	山本 武	富山大学和漢医薬学総合研究所 消化管生理学 助教	葛根湯の併用による経口免疫寛容の治療効率の向上及びその機序の解明
14	吉田 幸一	東京都立小児総合医療センター アレルギー科 医員	マカダミアナッツアレルゲンの交差反応についての解析

当財団のWebサイトから研究課題概要をご覧ください。 [https://www.miraizaidan.or.jp/specialist/grants/2016/02\\_result.html](https://www.miraizaidan.or.jp/specialist/grants/2016/02_result.html)



ニッポンハム  
食の未来財団

電話：029-893-4466

E-mail：info@miraizaidan.or.jp